

つなぐ手ねっと

(リハビリスタッフが名付けてくれました。私たち、仲間、地域の復興へ向けた表現です。)

長町・若林地域訪問対策本部発 No.14 2011年4月15日

話を聞いてもらうだけで心がなごむ!

～郡山地域訪問始まる! 若林地域(上飯田・下飯田)も第4次訪問行動～



<農家の方との対話>

を続けることに非常に不安を持っていました。訪問した職員は「訪問してお話をうかがうと不満や大変なことを口にする方もいて、少しでも話を聞きに地域に出ていく大切さを感じました」と感想を述べました。

若林クリニック師長さんからは、「アパートに移った地元の方が鍋やヤカンなどの生活用品がなくて困っています。物資カンパを行い、診療所で配りたい。皆さんの協力をお願いしたい」と訴えられました。

午前には支援看護師6人と検査技師2人で郡山地域訪問行動を行いました。169軒訪問し65人と対話しました。福島県や県内被害の大きい地域から避難されている家が数軒あり、中には親族11人で暮らしている家族もいました。

午後は若林地域を長町病院職員6人と若林クリニック職員3人、支援者10人の計19人が訪問行動を行いました。96軒訪問し、71人と対話しました。

赤紙が張ってある家に家族7人が生活、「余震が怖いけど他に行くところがない」。農家の方は「畑に塩水が入り野菜がとれない。農機具が全部だめになった」と農業

若林地域の方との対話



平尾所長のあいさつ



報告会の様子



■昨日の行動■ 2011年4月14日(木)

□参加者	29名	累計	465名
			(含む引越し作業36名)
□安否確認	265名	累計	2,493名
□訪問件数	265件	累計	2,247件
□避難所		累計	16

本日もカルテ整理に10人が大奮闘

暑い中、本日も支援部隊10人が長町クリニックのカルテ整理作業を行いました。ホコリが飛び散る中、汗だくになりながらの作業でした。御苦労さまでした。作業は明日も続きます。